

先を見通したフロの判断

現在、クールヒートトレンチに関する作業のために、日吉町の小倉左官店の職人の方々が北中の地下で仕事をしてみえます。玄関前に機材や資材が置かれ、職員室前にブルーシートで養生（ようじょう）されているのはそのためです。

時期を同じくして分散登校が始まり、生徒が再び校舎を使うようになりました。階段を上る前には手の消毒をする生徒たち。その人数が増えれば、それに比例して床が汚れます。液の滴（しずく）が床に丸い模様をたくさん描きます。

そこで、床を覆って滴の模様を防ごうと考えました。折しも、小倉左官店の職人の方々が使っていたブルーシートが目にとまりましたので、私はそのシートの一部を譲ってもらえないかと厚かましいお願いをしました。二つ返事で引き受けてくださいました。それどころか、仕事の開始前にシートを広げ、階段前に二カ所はってくださいだったので。

左の写真を見てください。消毒液が準備される階段下二カ所に美しくシートが敷かれています。さらによく見てほしいのは、シートの四辺が緑のテープで貼られている点です。

作業の養生として使うシートは、テープで部分的に留められているだけです。しかし、消毒液の滴よけのシートは美しく、そして、しっかりと留められています。生徒たちが利用するスペースだけに、その分めくれば上がったり傷んだりする可能性が高いからでしょう。私がお願したわけではありませんが、先を見通したプロの判断でそのように留めてくださったのです。

消毒はこれからも続きます。ブルーシートを目にする度にこのことを思い出してくださいね。

（六月三日 記）

